



EXS-1MK2

Electronic Drums

オーナーズ マニュアル

Welcome.

■ 目次

セットアップ	3
パッキング・リスト	3
ドラムキットの組み立て	4
トップ・パネル	9
リア・パネル	11

1 準備	11
オーディオ機器の接続	11
パッドを接続する	11
電源オン / オフ	12
自動的に電源を切る（オート・パワー・オフ）	12

2 演奏する	13
ホーム画面	13
演奏する	13
ドラムキットを変更する	14
リストからドラムキットを選ぶ	14
ソングを再生する	14
メトロノームを使う	15
ビジュアライザーを使う	15

3 メニュー内の機能と設定	16
SONG（ソング）	17
METRONOME（メトロノーム）	19
RECORD（演奏の録音）	20
INST LEVEL（各パッドの音量調節）	21
SETUP（全体の設定）	21

4 詳しい情報	29
仕様	29
サポート	29

5 重要なお知らせ	30
安全性に関する重要な情報	30
取り扱いに関する重要な情報	31

・ EXS-1MK2 をご使用になる前に、「5 重要なお知らせ」（p.30）をお読みください。

セットアップ

■ パッキング・リスト

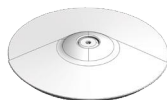
本製品には次のものが含まれています。



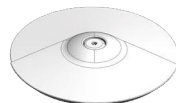
キック・パッド



キック用スパー x2



クラッシュシンバル・パッド
(1出力)



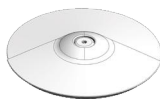
ライドシンバル・パッド
(2出力)



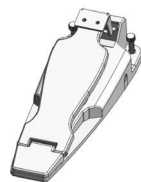
スネア・パッド



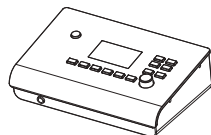
タム・パッド x3



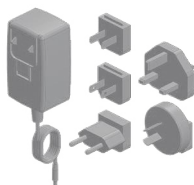
ハイハット・パッド
(五角形穴)



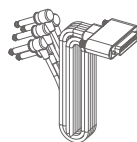
ハイハット・コントローラー



xD3 音源モジュール



AC アダプター



マルチトリガー・ケーブル

オーナーズマニュアル (本書)
SD カード
ケーブル・タイ
ドラム・キー

ドラムスタンド



パイプ A x2



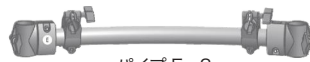
パイプ B x2



パイプ C



パイプ D



パイプ E x2



ハイハット・アーム



シンバル・アーム x2



スネアパッド・アーム



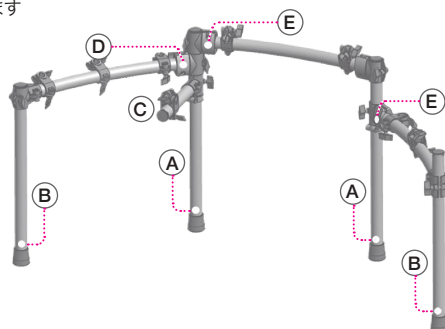
タムパッド・アーム x3

■ ドラムキットの組み立て

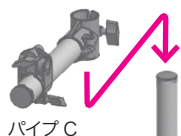
手順に従って、パイプ A ～ E を右図のように組み立てます

※ それぞれのパイプには、記号シールが貼付されています

※ ドラムスタンドを組み立てる際にしっかりと組み立てられない場合は、各パイプ両端のパーツが緩んでいる場合がございます
その際は付属のドラム・キーで締め増してください



1 パイプ A に、パイプ C を差し込む



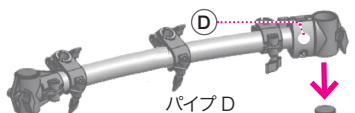
パイプ C

パイプ A



※ ノブを締めます

2 上記パイプ A とパイプ B に、パイプ D を差し込む



パイプ D

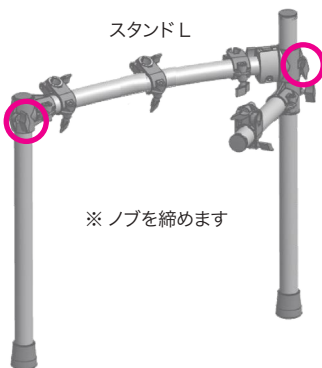
パイプ B

パイプ A

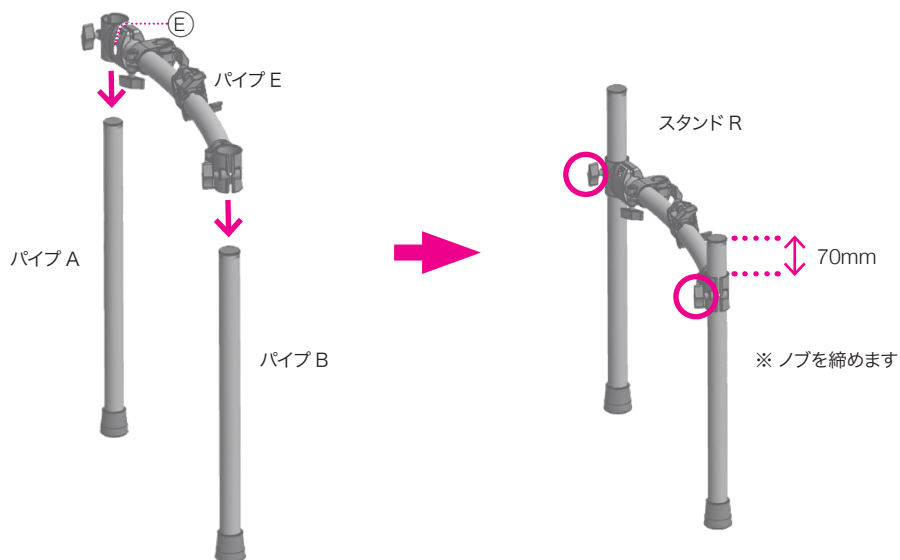


スタンド L

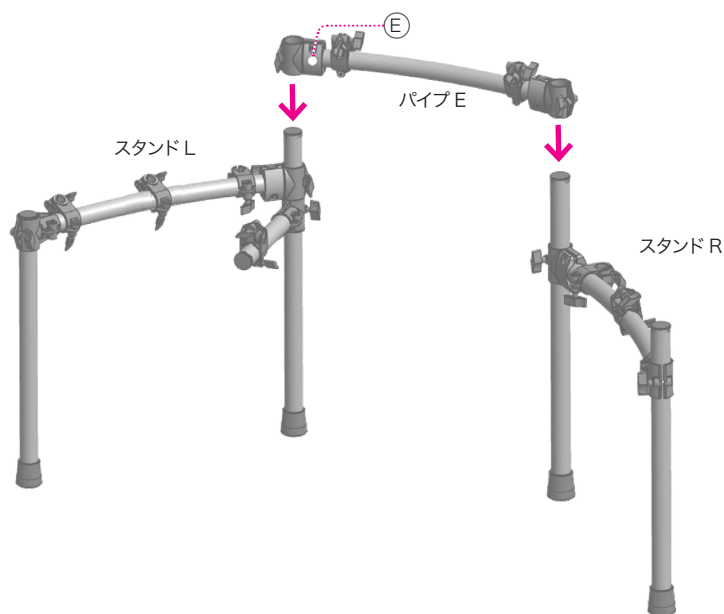
※ ノブを締めます



3 パイプ A とパイプ B に、パイプ E を差し込む

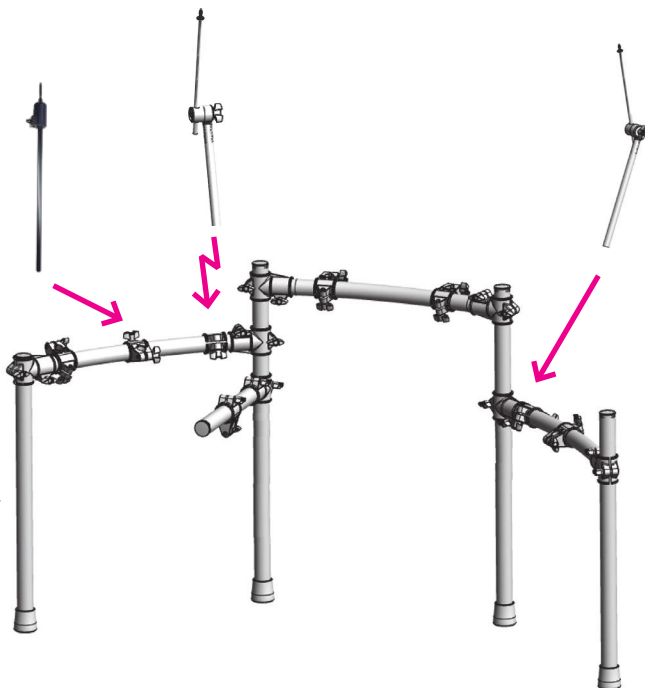


4 上記スタンド L とスタンド R に、パイプ E を差し込む

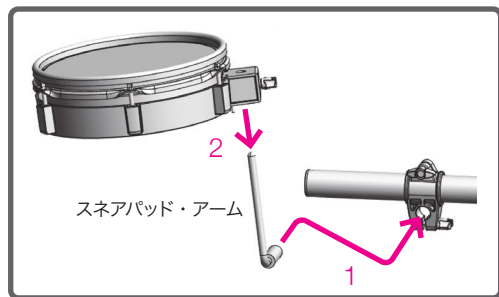


5 ハイハット・アームとシンバル・アームを図の位置に取り付ける

※ ハイハットと音源 (xD3) の位置を逆にする方法もあります。演奏しやすいセッティングをお選びください

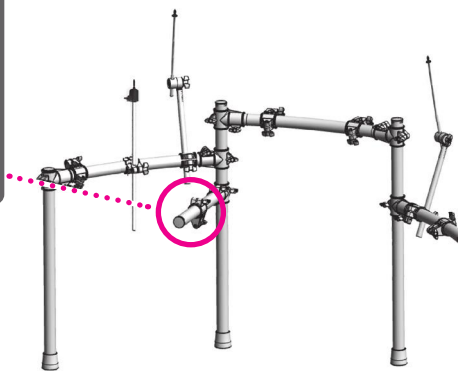


6 スネア・パッドを取り付ける

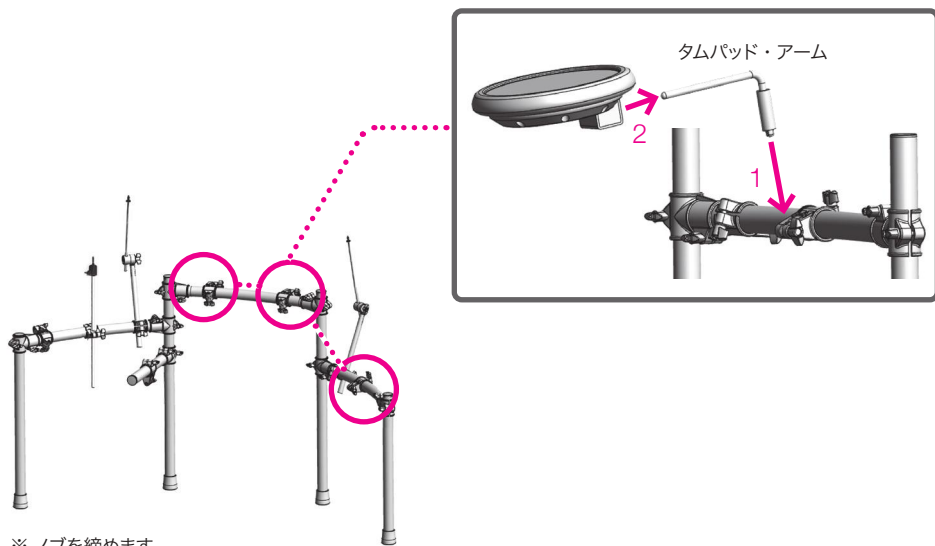


※ ノブを締めます

※ 付属のドラム・キーで、ヘッドのテンションを調節してください



7 タム・パッドを取り付ける

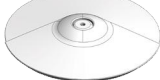


8 シンバル・パッドを取り付ける

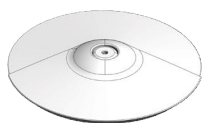
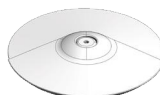
xD-C12A
五角形穴



xD-C12A 1 出力

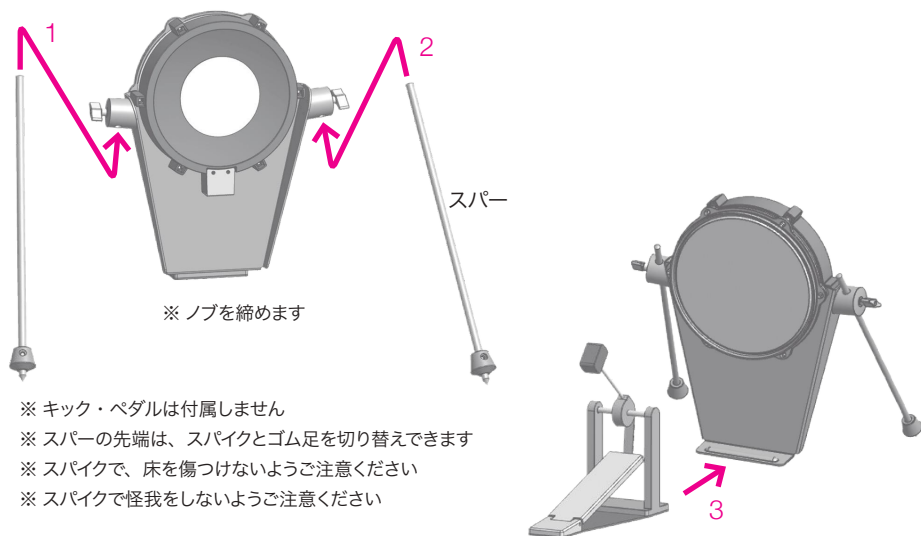


xD-C12B 2 出力

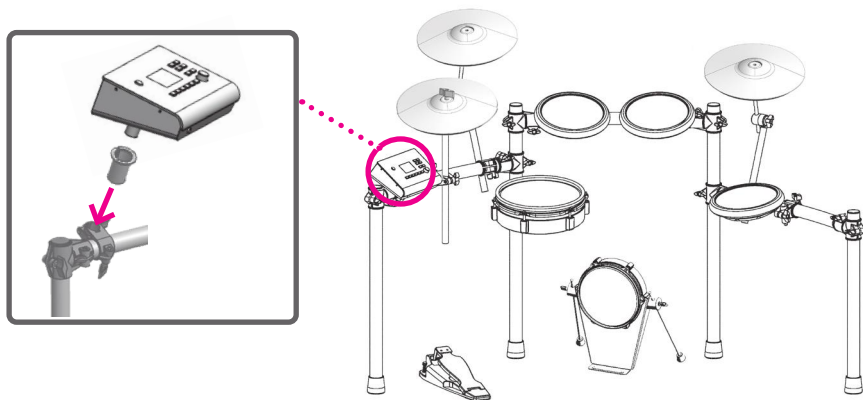


※ ハイハットと音源 (xD3) の位置を逆にする方法もあります。演奏しやすいセッティングをお選びください

9 キック・パッドを組み立てる



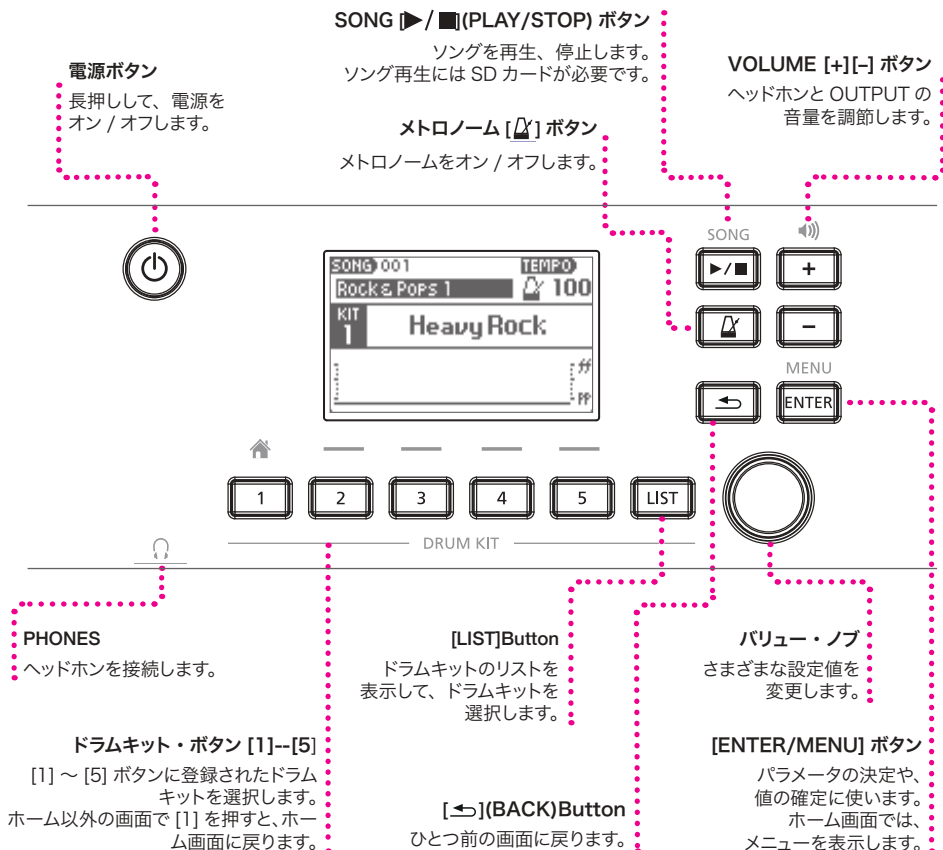
10 xD3 音源モジュールを取り付ける



- ※ 組み立てが完了したら、全てのノブがしっかりと締められていることを確認してください
- ※ ノブを締めてもスタンドが安定しない場合は、付属のドラム・キーを使って、スタンドの各ジョイント部を締め増してください
- ※ ハイハットと音源（xD3）の位置を逆にする方法もあります。演奏しやすいセッティングをお選びください

■ トップ・パネル

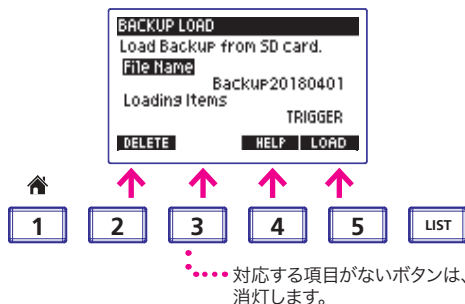
操作できるボタンだけが点灯します。



ファンクション・ボタンについて

ホーム以外の画面で、ドラムキット・ボタン [2][3][4][5] は、画面上の対応する項目や機能を選択するのに使います。

右の例では、
[2] ボタン = DELETE
[4] ボタン = HELP
[5] ボタン = LOAD
の機能に対応します。



■ リア・パネル

SD CARD

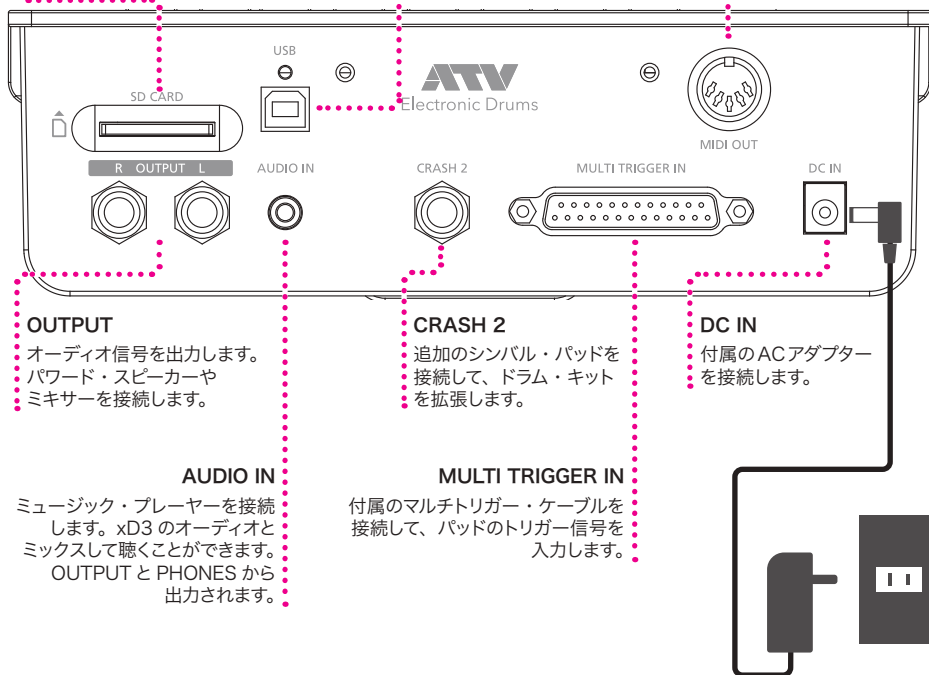
付属の SD カードを挿入します。SD カードにはソングデータが入っています。ソングを追加することもできます (p.18)。
また xD3 のデータをバックアップしたり、サウンド・データをインポートしたりできます。
32GB までの SD/SDHC カードに対応しています。

USB

Mac や Windows PC と接続して、MIDI 信号を送受信できます。
USB 2.0 用のケーブルを使用します。

MIDI OUT

MIDI 機器を接続して、MIDI 信号を送信できます。



OUTPUT

オーディオ信号を出力します。
パワード・スピーカーや
ミキサーを接続します。

CRASH 2

追加のシンバル・パッドを
接続して、ドラム・キット
を拡張します。

DC IN

付属の AC アダプター
を接続します。

AUDIO IN

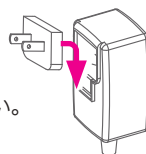
ミュージック・プレーヤーを接続
します。xD3 のオーディオと
ミックスして聴くことができます。
OUTPUT と PHONES から
出力されます。

MULTI TRIGGER IN

付属のマルチトリガー・ケーブルを
接続して、パッドのトリガー信号を
入力します。

AC アダプターについて

付属の AC アダプターは世界中で使用できます。
お住まいの国のコンセントのタイプに適した付属のプラグを取り付けてください。
※付属の AC アダプターとプラグ以外は使用しないでください。

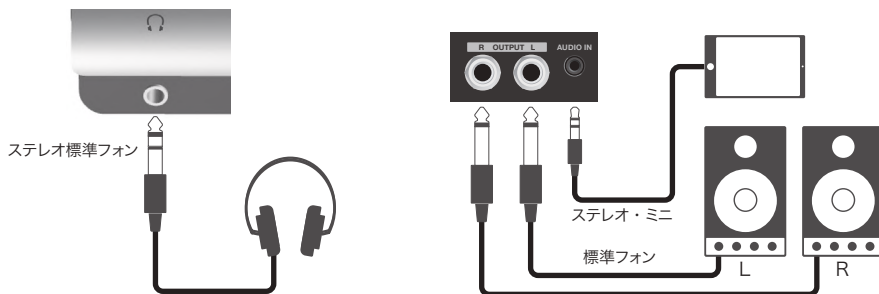


1 準備

■ オーディオ機器の接続

xD3 をお使いいただくためには、次のもの（市販品）が必要です。

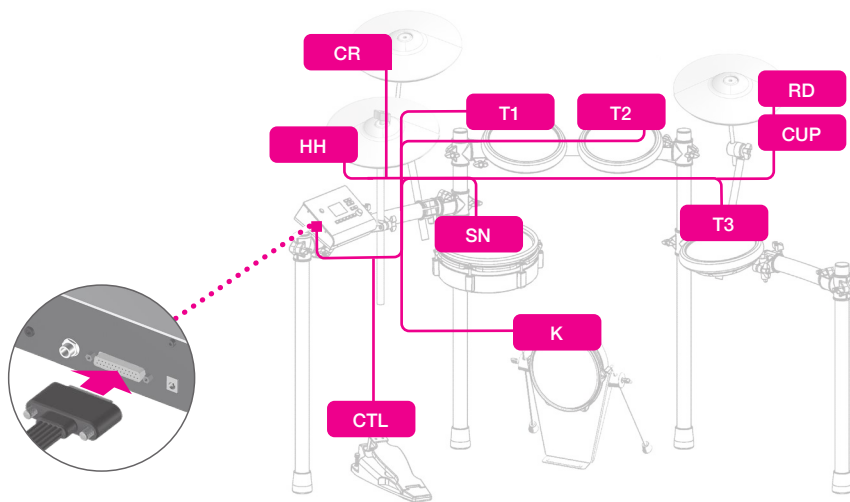
- ・ ヘッドホンまたはパワード・スピーカーなど
- ・ PC/ タブレットのヘッドホン・ポートと AUDIO IN を接続すると、曲に合わせて演奏できます。



■ パッドを接続する

xD3 のマルチトリガー・ケーブルと、各パッドを接続します。

マルチトリガー・ケーブルの各プラグに書かれている接続先を確認し、図を参考に接続します。
接続後、付属のケーブル・タイでケーブルをスタンドに固定します。



※ ハイハットと音源（xD3）の位置を逆にする方法もあります。
演奏しやすいセッティングをお選びください

xD3 のトリガー入力と対応するゾーン

xD3 トリガー 入力	サポートされている ゾーン	チョーク 方式	ノート
KICK	ヘッド	-	入力はシングルトリガーのみに対応しています。
SNARE	ヘッド、リム	-	サイドスティックサウンド機能を有効にできます。 (スネア入力でのみ利用可能です。)
TOM 1	ヘッド	-	入力はシングルトリガーのみに対応しています。
TOM 2	ヘッド	-	入力はシングルトリガーのみに対応しています。
TOM 3	ヘッド	-	入力はシングルトリガーのみに対応しています。
HI-HAT	ボウ、エッジ	○	
CRASH	ボウ、エッジ	○	
RIDE	ボウ、エッジ、カップ	○	3 ゾーン入力には 2 本のパッドケーブルが必要です。
CRASH 2	ボウ、エッジ	○	

■ 電源オン/オフ

電源を入れる

1 接続しているアンプやスピーカーの音量を下げます。

2 xD3 の電源ボタンを長押しします。

電源が入ります。

電源を切る

1 接続しているアンプやスピーカーの音量を下げます。

2 xD3 の電源ボタンを長押しします。

電源が切れます。

すべての設定は保存されます。

※ 電源を切らずに AC アダプターを抜くと、故障の原因になります。必ず電源ボタンを押して、電源を切ってください。

自動的に電源を切る（オート・パワー・オフ）

xD3 は、30 分以上演奏や操作が行われないと、自動的に電源を切って消費電力を削減します。

2 演奏する

■ ホーム画面

電源を入れたあとに表示される画面が、ホーム画面です。
どこの画面からでも [1] (HOME) ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
ドラムを演奏するときは、必ずホーム画面を表示させます。



1

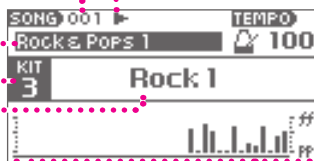
ソング再生アイコン

ソング番号

ソング名

ドラムキット番号

ドラムキット名



メトロノームのテンポ

ビジュアライザー：
ショットのダイナミクスやタイミング
を視覚的に表示します (p.15)。

ドラムキットとは？

各パッドに音色を割り当てたものを「ドラムキット」といいます。ジャズ用、ロック用といったドラムキットの種類を変更すると、各パッドの音色がそのジャンルにふさわしい音に切り替わります。

■ 演奏する

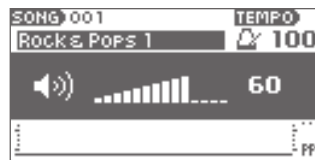
1 パッドを叩くと音が鳴ります。

叩く強さに応じて、音が自然に変化します。

2 VOLUME[+][-] で音量を調節します。

適切な音量に調節してください。音量が小さすぎると、不必要に力を入れて叩いてしまう原因となり、手や腕を負傷する恐れがあります。また音量が大きすぎると、耳への負担が大きくなり、難聴などを引き起こす恐れがあります。特にお子さまがご使用になる場合はご注意ください。最大音量を制限することができます (p.21)。

パッドの音のバランスが悪かったり、叩いた音の変化が不自然に感じる時は、p.22 のトリガー設定をおためしてください。

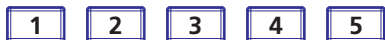


対応している奏法

スネアドラム	ヘッドショット、リムショット、サイドスティック
ハイハット	ボウ、エッジ、オープン〜クローズ、フットクローズ、フットブラッシュ
クラッシュシンバル	ボウ、エッジ
ライドシンバル	ボウ、エッジ、カッパ

■ ドラムキットを変更する

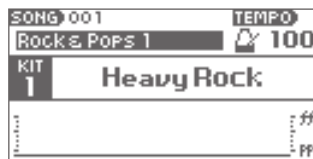
- 1 ドラムキット・ボタン [1] ～ [5] のどれかを押します。



各ボタンに登録されたドラムキットがロードされます。

※ ドラムキットのロードには、数秒かかります。

- 2 ドラムキット名が表示されたら、演奏できます。



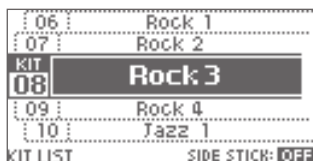
■ リストからドラムキットを選ぶ

ドラムキット・ボタン [1] ～ [5] 以外のドラムキットを選ぶことができます。

- 1 [LIST] ボタンを押します。

ドラムキットのリストが表示されます。

- 2 バリューノブでドラムキットを選択します。



- 3 [ENTER] ボタンを押します。

選択したドラムキットがロードされます。

サイドスティックを鳴らす

スネアドラムでサイドスティックを演奏することができます。

- 1 [LIST] ボタンを押します。

ドラムキットのリストが表示されます。

- 2 [5] (SIDE STICK) を押して「ON」にします。

鳴らしたくないときは「OFF」にします。

- 3 [←] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

■ ソングを再生する

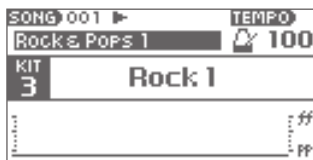
ソングを再生するには、付属の SD カードを挿入しておく必要があります。

- 1 SONG [▶/■] ボタンを押します。

ソングが再生されます。

- 2 バリューノブを回して、お好みのソングを選択します。

ソング名が表示されます。



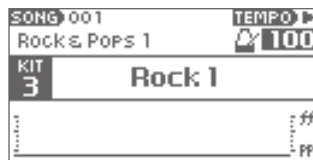
- 3 もう一度 SONG [▶/■] ボタンを押すと停止します。曲を停止すると、再生が曲の先頭にリセットされることに注意してください。

- ・ あらかじめメトロノームを鳴らしておくと、ソングに合わせてメトロノームを鳴らすことができます。
- ・ お手持ちの曲 (.wav ファイル) を再生することもできます (p.18)。
- ・ ソングの音量調節やその他の機能は、ソング画面 (p.17) で行います。

※ ソングのテンポを変更することはできません。

■ メトロノームを使う

- 1 [M] ボタンを押します。
メトロノームが鳴ります。
- 2 バリューストックでテンポを調節します。
- 3 もう一度 [M] ボタンを押すと停止します。



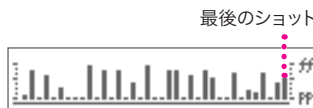
■ ビジュアライザーを使う

ビジュアライザーは、ショットのダイナミクスやタイミングを視覚的に表示します。

メトロノーム オフ時

ショットの強さをバーグラフで表示します。最後のショットが一番右に表示され、前回のショットは左側に移動します。

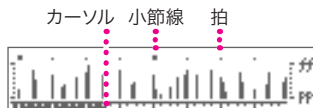
叩く強さを視覚的に確認することができます。



メトロノーム オン時

テンポに応じてカーソルがスクロールし、ショットのタイミングと強さをバーグラフで表示します。バーグラフは重ねて表示されるので、メトロノームに合わせて同じリズムを叩き続けることで、タイミングや叩く強さのバラツキを視覚的に確認することができます。

[←] ボタンを押すと、表示をクリアすることができます。



ドラムキット・ボタンに、ほかのドラムキットを登録する

ドラムキット・ボタン [1] ~ [5] でロードするドラムキットを変更することができます。

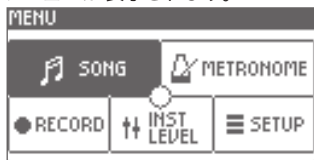
- 1 [LIST] ボタンを押します。
ドラムキット・リストが表示されます。
- 2 登録したいドラムキットを選択し、ロードします。
- 3 登録先のドラムキット・ボタン ([1] ~ [5] のどれか) を 2 秒間押し続けます。
登録が完了すると、メッセージが表示されます。

3 メニュー内の機能と設定

xD3 のその他の機能や設定は、メニューからアクセスします。

1 ホーム画面で [ENTER/MENU] ボタンを押します。

メニューが表示されます。



2 バリューノブを回して項目を選択し、[ENTER] ボタンで確定します。

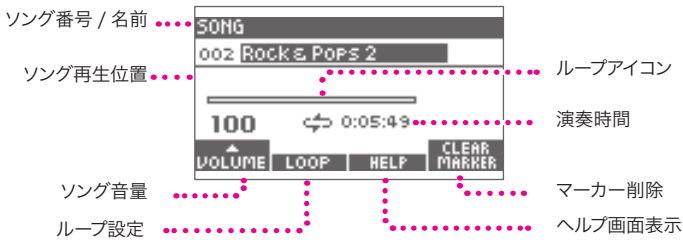
SONG	ソングの再生や、音量、マーカーの設定をします。	p.17
METRONOME	メトロノームの詳細設定をします。	p.19
RECORD	ドラム演奏を録音します。	p.20
INST LEVEL	各ドラムキットのパッドごとの音量を調節します。	p.21
SETUP	xD3 全体の設定をします。	p.21

3 [←] (BACK) ボタン、または [1] (HOME) ボタンで戻ります。

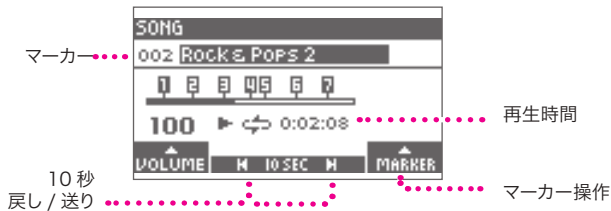
■ SONG (ソング)

ソング画面では、ソングの選択や再生のほか、ソングごとに音量を調節したり、マーカーを設定したりできます。

停止時



再生時



ソング選択と再生 / 停止

1 バリュースローバを回してソングを選択します。

音量またはマーカーを操作中はソングを選択することはできません。

2 SONG [▶/■] ボタンを押して、再生 / 停止します。

再生中は、[3][4] ボタンで、10 秒戻し / 10 秒送りができます。

ソングの音量調節

1 [2](VOLUME) ボタンを押し、バリュースローバを回して音量を調節します。

2 もう一度 [2](VOLUME) ボタンを押します。



ループ設定

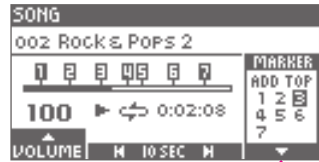
ループをオンにすると、ソングを繰り返し再生します。

1 停止中に、[3](LOOP) ボタンを押して、ループをオン / オフします。

ループをオンにすると、ループアイコンが表示されます。

マーカー

ソングの任意の位置に最大 9 つのマーカーを設定し、指定したマーカーにジャンプすることができます。



マーカー追加

- 1 ソングを再生します。
- 2 [5] (MARKER) ボタンを押し、バリュウノブで「ADD」を選びます。
- 3 マーカーを追加したいタイミングで、[ENTER] ボタンを押します。
マーカーが追加されました。

マーカージャンプ

- 1 バリュウノブでマーカー番号を選択し、[ENTER] ボタンを押します。
ソングの先頭へジャンプするときは、「TOP」を選択します。

マーカー削除

- 1 ソング停止中に、[5] (MARKER) ボタンを押します。
- 2 削除したいマーカーを選んで、[ENTER] ボタンを押します。

※ 音量、ループ、マーカーの各設定は、ソングごとに記憶されます。

※ ソングのテンポを変更することはできません。

オーディオ・ファイル (wav) を再生する

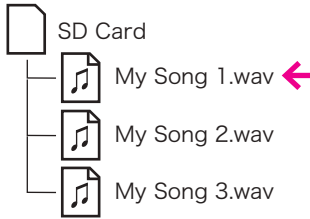
お手持ちの wav ファイルを SD カードに入れて、ソングとして再生することができます。

対応フォーマット

ファイルタイプ	Windows Wave (RIFF)
拡張子	wav, WAV
サンプリング周波数	48 kHz
ビットデプス	16 bits
ファイルサイズ	2 GB まで

準備

wav ファイルを SD カードのルート（一番上の階層）にコピーします。



※ wav ファイルは 100 個まで置くことができます。

※ フォルダに入れた wav ファイルは認識しません。

※ 2 バイト文字のファイル名には対応しません。

再生する

「ソング選択と再生 / 停止」(p.17) の手順で wav ファイルを選択し、再生します。

■ METRONOME (メトロノーム)

メトロノーム画面では、メトロノームの拍子や音量、音色などの設定ができます。



ヘルプ画面表示 タップテンポ

1 バリュースクロールを回して、設定したい項目を選択します。

Tempo	テンポ
Beat	ビート (拍子)
Note	ノート (拍の音価)
Sound	音色
Level	音量
Start w/CR1	CRASH 1 のシンバルを叩くと、1 または 2 小節間だけメトロノームが鳴ります。定期的に CRASH 1 を叩くことで、タイムキープができていないかを確認できます。 1. 「MEAS 1」または「MEAS 2」に設定します。 2. [] ボタンを押します。画面に CR が点滅します。 3. CRASH 1 のシンバルを叩きます。メトロノームが 1 または 2 小節間鳴ります。



2 [ENTER] ボタンを押し、バリュースクロールで値を変更します。

3 [ENTER] ボタンを押して値を確認します。

タップテンポ

ボタンを押す間隔でテンポを設定できます。テンポのわからない曲に合わせてメトロノームを鳴らすのに便利です。

1 拍に合わせて [5] (TAP) ボタンを押します。

テンポが設定されます。

■ RECORD (演奏の録音)

ドラム演奏を録音して、客観的に聴くことができます。ソングを再生しながら録音することもできます。



終了 録音
再生 / 停止

録音する

1 ドラム演奏を始めるか、または SONG [▶/■] ボタンを押してソングを再生します。

録音が始まります。

※ メトロノームに合わせて録音するときは、あらかじめメトロノームをオンにします。

2 [4] (▶/■) ボタンを押して、録音を停止します。

再生する

3 [4] (▶/■) ボタンを押します。

再生が始まります。

4 [4] (▶/■) ボタンを押して、再生を停止します。

5 もう一度録音するには、[5] (REC) ボタンを押して、手順 1 から繰り返します。

※ 前回の録音内容は消去されます。

6 録音を終了するには、[2] (EXIT) を押します。

ホーム画面に戻ります。

※ xD3 の電源をオフにすると、録音内容は消去されます。

※ 録音開始後に、ソングを再生することはできません。

※ 録音開始後に、メトロノームのテンポを変更することはできません。

■ INST LEVEL（各パッドの音量調節）

キットごとに、各パッドの音量を調節することができます。

1 音量を変更したいパッドを叩きます。

2 バリューストックで音量を変更します。

3 ステップ 1 ～ 2 を繰り返します。

※ キットごとに記憶されます。

INST LEVEL				KIT 01	
HH	CR1	CR2	RD		
93	86	88	69		
K	S	T1	T2	T3	
83	100	85	85	85	
TO SELECT, HIT THE PAD.					

■ SETUP（全体の設定）

SYSTEM（システム設定）

SETUP	
LCD Contrast	4
LCD Brightness	6
Auto Power Off	DISABLE
Master Vol Limit	100
MIDI Channel	10
SYSTEM TRIGGER UTILITY HELP	

..... 対象パッド表示

システム・タブ

トリガー・タブ

..... ヘルプ画面表示

..... ユーティリティ・タブ

1 [2](SYSTEM) ボタンを押して、システム・タブを選択します。

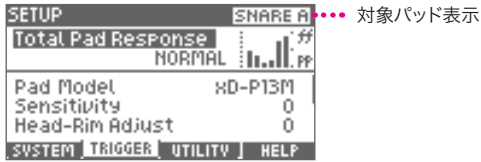
2 バリューストックでパラメータを選択し、[ENTER] ボタンを押します。

LCD Contrast	ディスプレイのコントラストを調整します。
LCD Brightness	ディスプレイの明るさを調整します。
Auto Power Off	xD3 は、30 分以上演奏や操作が行われないと、自動的に電源を切って消費電力を削減します。 自動的に電源を切るまでの時間を変更します。 30 mins : 30 分後に電源が切れます。 4 hours : 4 時間後に電源が切れます。 DISABLE : 電源は切れません。
Master Vol Limit	ボリューム [+] ボタンを押したときの最大値を設定します。 xD3 の最大音量を制限し、音量の上げ過ぎによる難聴などを防止します。
MIDI Channel	送受信する MIDI チャンネルを設定します。通常は 10 に設定します。
Pad Pan	各パッドのパン（ステレオ定位）を設定します。
Firmware	ファームウェアのバージョン
Product ID	プロダクト ID

3 バリューストックで値を変更し、[ENTER] ボタンを押して確定します。

TRIGGER (トリガー設定)

パッドのセンサー情報を正しく処理し、xD3 の演奏性能を最大限に引き出すための設定です。初めて使うときや、パッドの種類を変更したときは、トリガーの設定が必要です。



システム・タブ ヘルプ画面表示
トリガー・タブ ユーティリティ・タブ

1 [3](TRIGGER) ボタンを押して、トリガー・タブを選択します。

2 バリューノブでパラメータを選択し、[ENTER] ボタンを押します。

※ すべてのドラムキットに共通の設定です。

Total Pad Response	小さなお子さまなど、力の弱い方が叩いても力強い音が鳴るように、すべてのパッドの感度を上げます。プラスの値にするほど感度が上がります。
Pad Model	各トリガー入力に接続するパッドの種類を設定します。 ※ 通常は出荷時のままお使いください。
Sensitivity	各パッドの感度を調節します。プラスの値にするほど感度が上がります。
Head-Rim Adjust	スネアドラム・パッドのヘッドショットとリムショットの境界を調節します。ヘッドを叩いてもリムショットが鳴ってしまうときは、H 側に調節します。リムショットが鳴らしづらいときは、R 側に調節します。
Pedal HH Sens	ハイハットのフット・クローズ、フット・スプラッシュの音量を調節します。
HH Close Adjust	ハイハットのクローズ位置を調整します。踏み込んでも音が閉じないときは、プラス側に調整します。音が開きにくいときは、マイナス側に調整します。
Cross-Talk Cancel Wizard	パッドを叩いた衝撃が、ほかのパッドに伝わって誤発音する「クロストーク」を防止します。クロストーク・キャンセル・ウィザードに従って各パッドを叩くだけで、設定が完了します。手順については、「クロストーク・キャンセル・ウィザード」(p.23)をご覧ください。 ※ 初めてドラム・キットを設置したときは、このウィザードを実行します。 ※ パッドを変更したり、マウント場所を変えたりすると、クロストークが発生することがあります。そのような場合にも、このウィザードを実行します。

3 バリューノブで値を変更し、[ENTER] ボタンを押して確定します。

クロストーク・キャンセル・ウィザード



1 [5](NEXT) ボタンを押します。

中止するには、[2](CANCEL) ボタンを押します。

2 画面の案内に従い、指示されたパッドを強く 3 回叩きます。



※ [RETRY] を押すと、これまでの打撃が消去され、やり直しできます。

3 「OK」が表示されたら、[5](NEXT) ボタンを押して次へ進みます。

4 同様に、ステップ 1 ～ 2 を繰り返します。

xD3 は、接続されているすべてのパッドのクロストーク状態を計測します。

KICK > SNARE > TOM 1 > TOM 2 > TOM 3 > HI-HAT > CRASH 1 > RIDE > CRASH 2

※ 指示されたパッドが接続されていない場合は、[SKIP] を押します。

5 下の画面が表示されたら、試奏してクロストークがないことを確認し、[5](OK) ボタンを押します。



※ クロストークがある場合は、[2](RETRY) ボタンを押して、もう一度ウィザードを繰り返します。

※ クロストークを完全には防止できないことがあります。

UTILITY (ユーティリティ)



システム・タブ

トリガー・タブ

ヘルプ画面表示

ユーティリティ・タブ

1 [4](UTILITY) ボタンを押して、ユーティリティ・タブを選択します。

2 バリューストックで項目を選択し、[ENTER] ボタンを押します。

Backup Save	xD3 内蔵ストレージの内容を、SD カードにバックアップします。 SD カードを xD3 に挿入してください。 ※ 大切なデータを失わないためにも、定期的にバックアップを保存することをお勧めします。	p.25
Backup Load	SD カード内のバックアップを xD3 にロードします。 ※ xD3 内の全てのデータが消去されます。	p.26
Import Kit	ATV Sound Store からダウンロードしたドラムキット・データを xD3 にインポートします。ドラムキットを増やすことができます。	p.27
SD Card Format	SD カードをフォーマットします。 ※ フォーマットを実行すると、SD カードの内容がすべて消去されます。	p.28
Factory Reset	xD3 を工場出荷時の状態に復元します。 ※ xD3 内の全てのデータが消去されます。	p.28

Backup Save (バックアップ保存)



ヘルプ画面表示 保存

1 バリューノブで「File Name」を選択し、[ENTER] ボタンを押します。

2 バックアップ・ファイル名を入力します。

カーソルで位置を移動し、バリューノブで文字を変更します。



文字削除 カーソル右
文字挿入 カーソル左

3 [ENTER] ボタンを押して、ファイル名を確定します。

4 バリューノブで「Saving Items」を選択し、[ENTER] ボタンを押します。

5 保存する項目を選び、[ENTER] ボタンを押して確定します。

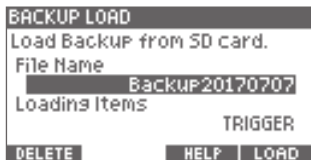
ALL	xD3 内のすべてのデータを保存します。
KIT+TRIG	ドラムキットとトリガー設定を保存します。
KIT+INST	すべてのドラムキットデータを保存する場合に選択します。
KIT	すべてのドラムキットを保存します。
TRIGGER	トリガー設定を保存します。

6 [5] (SAVE) ボタンを押して、保存を実行します。

保存が終わると「Completed.」と表示されます。

※ ALL を選択した場合、保存には 10 分程度かかります。

Backup Load (バックアップ読み込み)



バックアップ削除 読み込み ヘルプ画面表示

CAUTION

バックアップをロードすると、xD3 内の一部またはすべてのデータが消去されます。

- 1 バリューストックで「File Name」を選択し、[ENTER] ボタンを押します。
バリューストックでロードするファイル名を選択し、[ENTER] ボタンを押して確定します。
- 2 バリューストックで「Loading Items」を選択し、[ENTER] ボタンを押します。
- 3 ロードする項目を選び、[ENTER] ボタンを押して確定します。

※ 選択できる項目は、バックアップの内容によって異なります。

ALL	xD3 内のすべてのデータをロードします。 ※ xD3 内のすべてのデータが消去されます。
KIT+TRIG	ドラムキットとトリガー設定をロードします。 ※ xD3 内のドラムキットとトリガー設定は消去されます。
KIT+INST	すべてのドラムキットデータをロードする場合に選択します。 * xD3 に保存されているドラムキットデータはすべて削除されます。
KIT	ドラムキットをロードします。 ※ xD3 内のドラムキットは消去されます。
TRIGGER	トリガー設定をロードします。 ※ xD3 内のトリガー設定は消去されます。

- 4 [5](LOAD) ボタンを押して、保存を実行します。

ロードが終わると「Completed.」と表示されます。

※ ALL を選択した場合、ロードには 10 分程度かかります。

- 5 電源を入れ直します。

バックアップがロードされました。

バックアップ・ファイルの削除

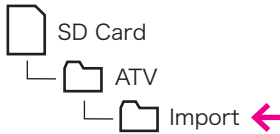
SD カード内のバックアップ・ファイルを削除します。

- 1 上記ステップ 1 で削除するファイルを選択します。
- 2 [2](DELETE) ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
- 3 [5](OK) ボタンを押して、削除を実行します。

削除を中止するには、[2](CANCEL) ボタンを押します。

Import Kit (ドラムキットのインポート)

- 1 ダウンロードしたドラムキット・ファイル (xxxx.xd3kit) を、SD カード内の Import フォルダに置きます。



※ 「Import」 フォルダがない場合は、SD カードを一度 xD3 に挿入すると作成されます。

- 2 SD カードを xD3 に挿入します。



- 3 バリウーノブでインポートするドラムキット・ファイルを選択します。

- 4 [5] (IMPORT) ボタンを押して、インポートを実行します。

インポートが終わると「Completed.」と表示されます。

※ インポートには 5 分程度かかります。

※ ダウンロードしたドラムキット・ファイルは、プロダクト ID の一致する xD3 でのみインポートできます。
プロダクト ID が一致しない場合は、次のメッセージが表示されます。

「This xD3 doesn't have permission to import "xxxx".」

ATV SOUND STORE

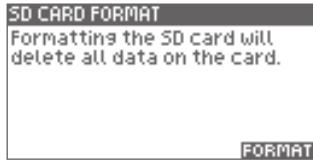
xD3 の追加ドラムキットをダウンロード購入できるサイトです。

※ アカウント登録の際に必要なプロダクト ID については、p.21 をご覧ください。



<http://store.atvcorporation.com/>

SD Card Format (SD カードのフォーマット)



..... フォーマット

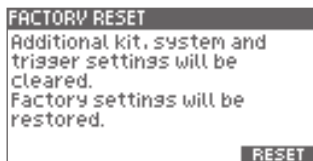
CAUTION

SD カードをフォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが消去されます。

- 1 SD カードを xD3 に挿入します。
- 2 [5](FORMAT) ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
- 3 [5](OK) ボタンを押して、フォーマットを実行します。

中止するには、[2](CANCEL) ボタンを押します。
フォーマットが終わると、「Completed.」と表示されます。

Factory Reset (工場出荷時の状態に戻す)



..... リセット

CAUTION

ファクトリーリセットを実行すると、xD3 内のすべてのデータが消去されます。

- 1 [5](RESET) ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
- 2 [5](OK) ボタンを押して、リセットを実行します。
中止するには、[2](CANCEL) ボタンを押します。
リセットが終わると、「Completed.」と表示されます。
- 3 電源を入れ直します。

工場出荷時の状態に戻りました。

4 詳しい情報

■仕様

Electronic Drum Sound Module

Model: xD3

項目	仕様
接続端子 / インターフェース	OUTPUT L/R: モノラル標準フォン x2 PHONES: ステレオ標準フォン AUDIO IN: ステレオ・ミニ・フォン MULTI TRIGGER INPUT: 専用マルチコネクタ CRASH 2 TRIGGER INPUT: TRS 標準フォン USB: 2.0 Type B コネクタ (High Speed) MIDI OUT: DIN コネクタ SD CARD: SD/SDHC カード DC IN: 付属 AC アダプター専用
電源	DC 12 V
消費電流	600 mA

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■サポート

よくある質問、ファームウェアの更新、その他については、次の URL を参照してください。



<http://www.atvcorporation.com/support/drums/>

5 重要なお知らせ

■ 安全性に関する重要な情報

以下の安全性に関する指示を守らないと、火災、感電、負傷、または EXS-1MK2 やほかの物品 / 財産への損害を招くおそれがあります。

EXS-1MK2 をご使用になる前に、必ず以下の安全性に関する情報をすべてお読みください。

記号について

	「ご注意ください」：注意喚起
	「～しないでください」：禁止
	「必ず実行してください」：強制

警告と注意について

 警告	死亡する可能性または重傷を負う可能性のある内容
 注意	傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性のある内容

 警告	
	分解、改造禁止 この製品を分解したり改造したりしない。
	次のような場所で使用、保管はしない ・ 温度が高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く） ・ 水気のある場所、湿度の高い場所（風呂場、濡れた床など） ・ 塩害の恐れがある場所 ・ 水や雨のかかる場所 ・ ほこりの多い場所
	電源コードを傷つけない 電源コードを無理に曲げたり、傷つけたりしない。電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
	付属の AC アダプターを使用する AC アダプターは、必ず付属のものを使用する。電源は、決められた電圧で使用する。
	異常や故障が生じたときは電源を切る 次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店または ATV に修理を依頼する。 ・ AC アダプター、電源コード、プラグが破損した場合 ・ 煙が出たり、異臭がしたりした場合 ・ 異物や液体が内部に入った場合 ・ 機器に異常や故障が生じた場合
	落としたり、強い衝撃を与えたりしない この製品を落としたり、強い衝撃を与えない。
	濡れた手で AC アダプターを抜き差ししない 感電のおそれがあります。

 注意	
	電源プラグを持って抜き差しする AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
	たこ足配線はしない コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。
	電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る 感電やショートのおそれがあります。
	長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く 感電や火災、故障の原因になることがあります。
	本体を移動するときはすべての接続をはずす 電源コードやケーブルを破損したり、人がケーブルにつまずいて転倒したりすることがあります。
	不安定な場所に置かない 本体が転倒して故障したり、人がけがをしたりする原因になります。
	本体の上ののったり重いものをのせたりしない 本体が破損する原因になります。また、ボタン、ノブ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。故障の原因になります。
	大音量で長時間使用しない スピーカーやヘッドホンを大音量で長時間使用すると、聴力障害の原因になります。
	本体の取り扱いに注意する 角部や隙間で、手や指をけがするおそれがあります。
	小さな部品はお子様の手の届かない所に置く 小さな部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かない所に保管してください。
	可動部の取り扱いに注意する 可動部に指などを挟まないように注意してください。お子様だけで取り扱いせず、必ず大人の方が操作してください。

■ 取り扱いに関する重要な情報

設置

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など、ほかの電気製品の近くで使用しないでください。この製品またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・ 直射日光のあたる場所、日中の車内、ストーブの近くなど、極端に温度が高くなるところで使用しないでください。本体が変形、変色したり、内部の部品が故障する原因になります。

電源

- ・ 電源オフの状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れ

- ・ お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色 / 変質の原因になりますので、使用しないでください。

データ

- ・ データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねます。ご了承ください。
- ・ 機器の故障や誤った操作などによって、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容はバックアップしてください。

著作権

- ・ ATV 株式会社および第三者から提供されている音楽 / サウンドデータは、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。（私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除く）
- ・ 製品に内蔵または付属されたコンテンツ（サウンドデータ、フレーズデータ、オーディオデータ、画像データ、コンピュータープログラムなど）の著作権は当社が保有しています。ATV 株式会社の許諾なく、個人的な使用の範囲を超えて上記コンテンツを使用することは、著作権法等に基づき、許可されていません。
- ・ 製品に内蔵または付属された上記コンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で、再販、配布、公開することはできません。

本書

- ・ 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものであり、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

www.atvcorporation.com